

私 の 夫 工

思考ツールとICTの活用
「主体的に学び伝え高め合う
子どもの育成」を目指して

笠岡市立神内小学校

教諭 守屋 成展



1 はじめに

本校は、笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所の指定を受け、令和2年度・3年度に、『主体的に学び伝え高め合う子どもの育成』をテーマに掲げ、研究を推進してきた。生活科と総合的な学習の時間を中心に、6年間を見通して地域を題材にした単元を構成している。主体性を育むために、子ども

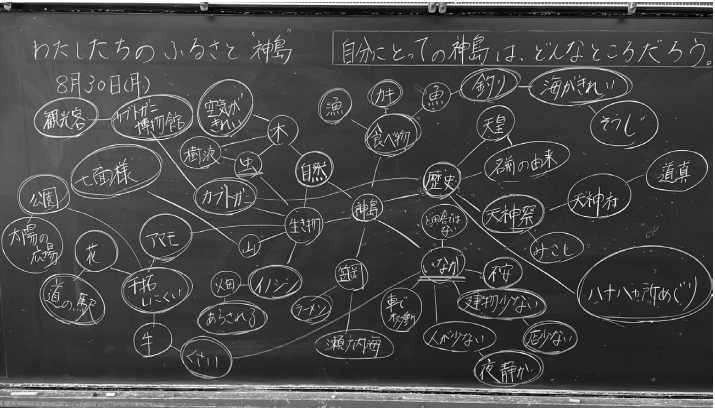
	1・2年	3・4年	5・6年
基本となる操作	○パソコン・タブレット ○インターネット・ネットブック ○キーボード ○マウス ○スクリーンショット機能 ○音声認識機能 ○外部ディスプレイ接続	○インターネットの検索機能を用いて、目的の画面上に出てくる情報を集める。キーワード検索する。リンク先から必要なものを取得する。 ○Google Mapで位置情報を読み取り、Google Earthで位置情報を用いて目的地の場所を確認する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。	○インターネットの検索機能を用いて、目的の画面上に出てくる情報を集める。キーワード検索する。リンク先から必要なものを取得する。 ○Google Mapで位置情報を読み取り、Google Earthで位置情報を用いて目的地の場所を確認する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。
情報の整理・分析	○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。	○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。	○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。
まとめ表現	○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。	○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。	○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。 ○検索した文章や動画を整理する。
情報モラル	○インターネットの検索機能を用いて、目的の画面上に出てくる情報を集める。キーワード検索する。リンク先から必要なものを取得する。 ○Google Mapで位置情報を読み取り、Google Earthで位置情報を用いて目的地の場所を確認する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。	○インターネットの検索機能を用いて、目的の画面上に出てくる情報を集める。キーワード検索する。リンク先から必要なものを取得する。 ○Google Mapで位置情報を読み取り、Google Earthで位置情報を用いて目的地の場所を確認する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。	○インターネットの検索機能を用いて、目的の画面上に出てくる情報を集める。キーワード検索する。リンク先から必要なものを取得する。 ○Google Mapで位置情報を読み取り、Google Earthで位置情報を用いて目的地の場所を確認する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。 ○キーボードで検索と表示する。検索結果から必要なものを取得する。

ICTスキル・系統表

「わたしたちのふるさと『神島』」
第6学年総合的な学習の時間
単元の目標を「地域の人々との意見交流や調査活動を通して、地域のために活動している人々の思いや願いについて理解を深め、課

2 実践

わたしの思いや願いを大切にして学習を進めている。また、伝え高め合う子どもの育成を目指し、「思考ツール」や「ICT機器」について、それぞれ系統表にし、実践を重ねている。
そこで、私が令和3年度に行った授業実践の一部を紹介したい。



コンセプトマップ

単元後半には、地域の課題に対し、自分たちや地域の人々の思いをどのような形で実現していくことができるかを話し合うなど、多くの児童が自分事として活動に取

課題について、子どもたち自身ができるように捉えているのかを知るところから始めた。ここでは、コンセプトマップを使うことで、自分たちのもつ地域のイメージが可視化でき、子どもたちの考えを広げていくことができた。
自分たちと地域の人々の思いや考えを比較するため、地域の人々に対してはアンケート調査を行った。調査対象の範囲や、配布・回収方法、目的に応じた質問項目など、子どもたちが進んでアイデアを出し合った。その際、お互いが考えた方法のメリットやデメリットを、思考ツールを用いて整理・比較しながら話し合い、調査方法を選択していくことができた。

活動①

単元の導入では、神島の魅力や

題の解決に向けて自分たちでできることを考えて取り組むとともに、ふるさとを愛する気持ちを深め、地域社会へ主体的に参画していくとする態度を育むことができるようにする。」とした。
本単元の目標に向けて、次のように学習活動を進めた。

活動②

自分たちと地域の人々の思いや考えを比較するため、地域の人々に対してはアンケート調査を行った。調査対象の範囲や、配布・回収方法、目的に応じた質問項目など、子どもたちが進んでアイデアを出し合った。その際、お互いが考えた方法のメリットやデメリットを、思考ツールを用いて整理・比較しながら話し合い、調査方法を選択していくことができた。

り組むようになっていった。
集めたアンケートの結果は、年
代別にマトリックスチャート（グ
ーグル・スプレッドシート）を使
ってまとめた。これにより、地域
の人々が考える神島の魅力や課題
が分類でき、児童らが話し合いな
がら年代別の傾向を捉えることに
つながった。

活動③

自分たちでまとめた調査結果や、
考えた地域の課題を、グループご
とにグループスライドにまとめ、
公民館長を招いて、意見交流を行
った。それにより、地域のために
活動している方々や団体について
の情報を得ることができ、子ども
たちの関心もさらに深まった。

活動④

環境・文化・子育てなどの分野
で、地域のために活動している方
をゲストティーチャーに招き、グ
ループごとにインタビューを実施

した。聞き取った内容はグルー
スライドを活用してプレゼン資料
にまとめた。

活動⑤

グループごとに、地域のための
活動とそこに携わる人々の思いに
ついてプレゼンを行った。

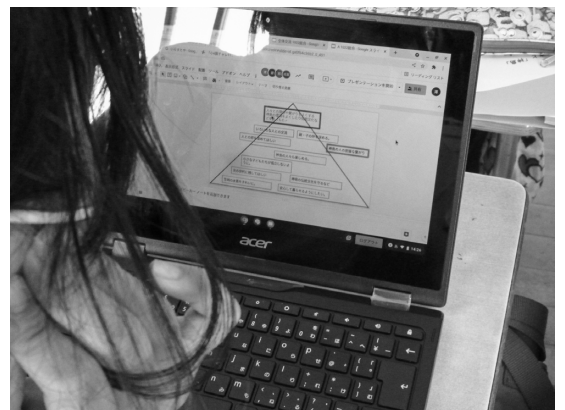
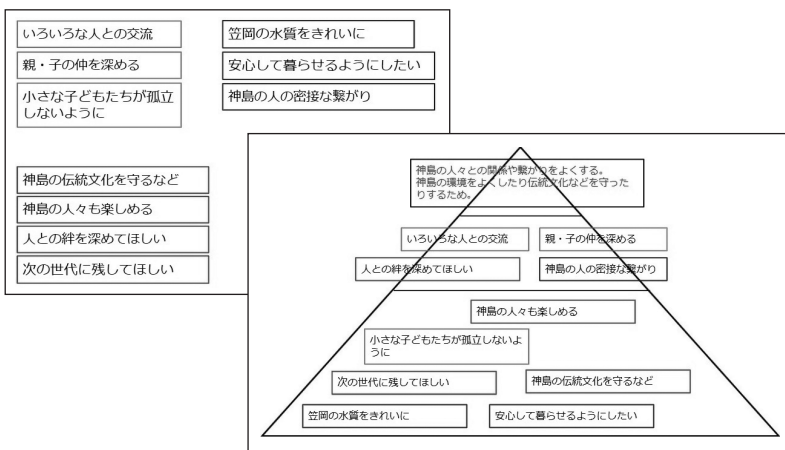


プレゼン

子どもたちは、お互いのプレゼ
ンを聞いて、重要だと考える情報
を、テキストボックス（グルー
スライド）に入力していく。
次に、それぞれの活動と人々の
思いについて共通点を見つけ、焦

点化していくために、子どもたち
は、ピラミッドチャートを選んだ。
思考ツールは、子どもたちが自分
でスライドの背景に挿し込めるよ
うにしていた。ピラミッドチャー
トを用いることで、子どもたちは、
内容を整理しながら、段階的に思
考することができた。

最後に、グループごとに話し合



ピラミッド（PC操作）

ったことを全体の場で共有しなが
ら議論を深め、地域の人々に共通
する思いを捉えることができた。

3 おわりに

令和4年度・5年度も研究を継
続し、授業研究を通じて、「主体
的に学び 伝え高め合う子ども
の育成」を実践している。これから
も、本校の教職員が丸となって、
さらなる授業改善に努めていき
たい。